

Cisco IQの最新情報

最新情報

このドキュメントでは、Cisco IQ™でリリースされた新機能と拡張機能について説明します。

2026年7月

七月二十四日

復元力のあるインフラストラクチャサービス

Resilient Infrastructure Services(RIS)は、高度なAI時代の脅威に対する防御と対処を支援する、柔軟なサポートとプロフェッショナルサービスのスイートです。Cisco IQのAIに基づくインサイトを活用したRISは、お客様の露出とパーソナライズされたプレイブックを常に可視化し、検出、評価、対応のサイクルを加速します。また、エキスパートのガイド付きワークフローと自動化を提供して、環境からこれらのリスクを軽減または排除します。

- Cisco IQ RISプレイブックの経験：脅威への対応とセキュリティギャップの解消を示すステップバイステップのガイダンス
- 互換性のある資産に対するデバイスレベルのOSアップグレード：互換性のある資産のオペレーティングシステムを直接アップグレードし、最新の状態と安全性を維持します。

Quantum Safeインフラストラクチャ

アセスメントモジュールでは、新しいポスト量子暗号標準に照らしてネットワーク環境を評価し、量子対応の脅威に対する脆弱性を特定します。潜在的なギャップに対する暗号化の使用状況を分析することで、結果はリスクレベルで優先順位付けされ、セキュリティ態勢を強化し、長期的なデータ整合性を確保する実用的な洞察を提供します。Quantum Safe Infrastructure Assessmentには、Cisco IOS® XE (ASR 1000およびISR 4000を除く)、IOS-XR、NX-OS、ACI、Cisco Secure Firewall Threat Defense(FTD)、およびCisco Secure Firewall Adaptive Security Appliance(ASA)が含まれます。デバイスの暗号部品表(CBOM)機能はベータ版です。

ソフトウェアリリースの適合性

アセスメントモジュールでは、アセットインベントリ全体で実行しているソフトウェアの適合性を評価できるようになりました。シスコが推奨するバージョン以外のソフトウェアバージョンを実行しているデバイスを特定し、実行するバージョンに関する推奨事項を提供します。主な利点は次のとおりです。

- 特定のデバイスで実行しているバージョンおよび機能に最も近いシスコ推奨リリースの特定
- シスコ推奨のソフトウェアバージョンを使用していないデバイスの分散割合の表示
- 推奨ソフトウェアバージョンのダウンロードリンクにアクセスし、適合しないデバイスの修復ワークフローを合理化する

Cisco IQ API

Cisco IQ APIベータの初期リリースは現在公開されており、UIから手動でエクスポートすることなくCisco IQデータにアクセスできます。次のREST APIがサポートされています。

- 資産の在庫
- 契約
- ハードウェアおよびソフトウェアのライフサイクルマイルストーンデータ（販売終了、サポート終了、サポート終了日）
- セキュリティアドバイザリーアセスメント
- Field Noticeアセスメント

 注:Cisco IQ APIはベータ版（パブリックプレビュー）です。ベータ版とは、限定的な可用性ではなく、APIの完成度を指します。今後の統合機能を評価したり、フィードバックを共有したりするには、それらを参照してください。APIの動作（エンドポイントパス、要求と応答のスキーマ、認証、ページ設定、エラー処理、その他のセマンティクスなど）は、下位互換性を維持せずにリリース間で変更される可能性があります。ベータAPIに対して実稼働統合を構築しないでください。

ピアベンチマーク

ピアベンチマークでは、アカウントのプロファイルを類似フィールドの組織グループのベンチマークデータと比較することで、状況に応じたパフォーマンスメトリックを提供します。Cisco IQ内のベンチマークメトリックを確認することで、同業者に対する自社の立場を理解し、改善が必要な分野を特定し、情報に基づいたアクションを実行できます。

エグゼクティブレポート

Cisco IQでは、シグニチャレベルのケースに関する定期的なサービスレビュー(PSR)レポートを自動的に生成します。これはエグゼクティブレポートから入手できます。ダウンロード可能な各

PDFレポートには、次の情報が含まれます。

- サポートケースの要約
- サポート・ リクエストおよび返品許可(RMA)分析のキー・ パフォーマンス・ インディケーター (KPI)
- 契約対象アカウントのみのソフトウェアメンテナンスウィンドウ(SMW)消費およびサービスレベル契約(SLA)分析

PSRレポートは最大12カ月間保存されます。

拡張された言語オプション

Cisco IQは、すべてのモジュールとAI Assistantで英語、日本語、韓国語、標準中国語、スペイン語に対応しており、Cisco IQのアクセシビリティが向上しています。Cisco IQは言語プリファレンスを検出し、その言語のUIを表示します。言語がまだサポートされていない場合は、デフォルトで英語に設定されます。言語を手動で変更するには、ユーザメニューを開き、ドロップダウンリストから言語を選択します。

 注：一部のAI Assistantユースケースでは、ラテン語以外および英語以外の応答がまだ完全にサポートされていない場合があります、英語で応答が返される場合があります。

クラウドコントローラテレメトリと直接検出が重複する場合の自動重複排除

クラウドコントローラテレメトリとダイレクトデバイス接続(DDC)方式 (シードファイルまたはIPレンジスキャン) の両方でデバイスが検出されると、Cisco IQで重複が自動的に解決されるようになりました。DDCはオーバーラップシナリオで優先され、重複エントリは抑制されます。

構成は必要ありません。インベントリおよび評価データには、修正された記録が自動的に反映されます。

CSVファイルによる資産インベントリのアップロード

CSVファイルをアップロードして資産をCisco IQに追加することで、クラウドコントローラやオンプレミスコレクタを介して接続されていないハードウェアのインベントリを可視化するパスを提供できます。CSVには各資産のシリアル番号が含まれている必要があります。ソフトウェアバージョン、ホスト名、および場所はオプションです。アップロードされた資産はシスコのレコードと照合されて検証され、カスタマーアップロードデータソースの下の資産 > インベントリに表示されます。

サービスEAサマリー：成長レポート

新しいサービスEAサマリページが資産モジュールに追加されました。このページには、シスコのインストールベースデータから直接得られたインストールベースの増加が表示されます。これにより、お客様とアカウントチームは、ポートフォリオの変化を時系列で一貫した共有ビューで確認できます。

資産ロールと重要度の分類の手動上書き

Cisco IQは、資格のあるテレメトリ資産を、予測された役割（ルータやアクセススイッチなど）と重要度（ネットワーク内での相対的な重要度）に基づいて、テレメトリデータに基づいて自動的に分類します。これらの分類は、リスクスコアリング、AIアシスタントの応答、およびアセスメントの優先順位付けに影響を与えます。自動予測が不正確な場合に、アカウント管理者が分類を手動で修正できるようになりました。主な機能は次のとおりです。

- ・ インベントリテーブル：個別またはバルク編集の資産行で、「ロール」ドロップダウンと「重要度」ドロップダウンを使用できます。手動でオーバーライドされた値は、ビジュアルマーカーで示されます。
- ・ 資産詳細ビュー：同じ上書きコントロールが資産詳細パネルに表示され、元の予測を通知したテレメトリ属性の説明も表示されます。

TLS証明書の有効期限

評価モジュールでは、証明書の状態の監視、証明書の詳細の表示、期限切れ証明書に関するアラートの受信が可能になりました。X.509 HTTPSおよびTransport Layer Security(TLS)証明書の有効期限を統合および分類し、証明書の更新プロセスに役立つその他の証明書情報を提供します。資産別の結果ビューにデバイスごとの証明書数と有効期限情報が含まれるようになり、タイムリーなアクションを取り、サービスの中断を防ぐことができます。

評価の使いやすさの向上

評価モジュールには、構成およびセキュリティ強化の強化された評価が含まれるようになりました。これにより、不確定な結果や構成ルールに適用できる最新のカテゴリに関して、状況に応じたガイダンスが提供されます。

ルール参照リンクの機能拡張

評価結果全体にわたるルール参照リンクが、記述的なラベルと組み込みのURL検証を備えた標準化された形式で強化され、リンクが整形形式でアクセス可能であることが保証され、より一貫した

信頼性の高いナビゲーションが外部文書に提供されます。

設定およびセキュリティ強化アセスメントに関するその他の推奨事項

IOSおよびIOS XE シグニチャデバイスの調査結果には、既存のCLIガイダンスに加え、Catalyst Center固有の汎用推奨ガイダンスが含まれています。

サポート層別にサポート案件を可視化してフィルタリング

サポート案件リストビューにサポート階層の列とフィルタが追加され、契約レベルでサポート案件を分離できるようになりました。この列は「ケース」ページと「サービスリクエスト」ページの両方で使用できますが、フィルタリングは「ケース」ページでのみ使用できます。サポート契約が関連付けられていないケースで使用できる値は、Basic、Standard、Signature、およびUncovered/Otherです。

ケースの詳細ビューと注記の帰属とタイムスタンプを参照

ケースの詳細ビューのTACプロGRESS詳細フィールド (Problem Description、Current Status、Action Plan、Resolution Summaryなど) に、日付とタイムスタンプとともに作成者の名前またはAIにより生成されたタグが表示されるようになりました。これはNotesタブでも同様に適用され、コンテンツがシスコエンジニア、カスタマー、AIのいずれによって作成されたかを明確にします。

RMA番号による検索とRMAドラフトの追跡

RMA番号別の検索がRMAリストビューでサポートされるようになりました。これにより、検索結果をさらに絞り込むことができます。また、RMAの詳細ビューの経過表示バーにDraftの状態が表示されるようになり、RMAのライフサイクルをより完全に把握できるようになりました。

デフォルトの90日間フィルタの削除

RMAとサービスリクエストのリストビューでは、RMA、Your RMAs、Cases、およびYour Casesの各ページにデフォルトの「90日」フィルタが適用されなくなり、RMAとサービスリクエストの履歴をすべて表示できるようになりました。

新しいウィジェットとケーストレンドグラフ

サポート概要ページに、オープンなケースとRMAのメトリックを含む新しいウィジェットが表示されるだけでなく、オープンされたケースとクローズされたケースの経時的なケース量の傾向を示す、新しいケース傾向グラフが表示されます。新しいウィジェットは次のとおりです。

- ドラフトRMA
- RMAによる返品 of 保留
- 顧客処理待ちのサポート案件

 注意: 「事例トレンド」グラフは、標準レベル以上の顧客にのみ使用できます。

RMAの状態およびRMAステータスの列の表示

RMAの状態とRMAのステータスがRMA とRMA ページの列に表示されるようになり、フォローアップが必要なRMAを迅速に識別できるようになりました。RMA State 列は、RMAページとYour RMAs ページの両方で使用できますが、Return Status 列が使用できるのはRMA ページだけです。

[ヘルプ]メニューから直接フィードバックを送信

Cisco IQのヘルプメニューにある新しいReport an Issueオプションを使用すると、Cisco IQでフィードバックの送信や問題の報告を行うモダルが開き、問題を直接報告することができます。また、ヘルプメニュー項目が再注文され、検索性が向上します。

 注: 「問題の報告」は、Cisco IQの問題に対してのみ使用してください。エンドデバイスの問題に関しては、Technical Assistance Center(TAC)のサービスリクエストをオープンする必要があります。

Case Listビューの実用的な洞察

CasesビューおよびYour Casesリストビューでは、ケースリストの上に動的なInsightsバナーが表示されるようになりました。これにより、現在のケースポートフォリオに関して2 ~ 3件の優先順位付けされた実用的な所見が提示され、一目で次のアクションに優先順位を付けることができます。

AIアシスタントファイルアップロードサポート

次のサポートされているファイル形式をAI Assistantのトラブルシューティング会話に直接アップロードして、AIを利用した分析、サマリー、インサイトを取得できるようになりました。データ

やファイルの内容を手動で入力する必要はありません。

- テキストファイル(.txt)
- スプレッドシートファイル(.xls、.csv)
- プレゼンテーションファイル(.ppt)
- イメージファイル(.jpg)
- ドキュメントファイル(.pdf)
- 圧縮ファイル(.zip、.rar、.7z、.gz、.tar)

 注：アップロードはファイルあたり100 MB、スレッドあたり500 MBに制限されています。

デバイスレベルのセルフサービストラブルシューティング

標準レベルとシグニチャレベルの機能により、デバイスレベルでAI Assistantを使用したトラブルシューティングが可能になり、カスタマイズされた診断が提供され、ファイルアップロードを介して接続されたデバイスの一般的なトラブルシューティングガイダンスを超えた包括的な根本原因分析が可能になります。

Cisco IQの機能とユースケースについて質問する

AI Assistantは、Cisco IQの機能、モジュール、ユースケースに関する一般的な質問や、ドキュメントの入手場所、サポートへの問い合わせ方法に関する質問に答えられるようになり、製品に関する基本的な質問を外部リソースから検索する必要性を軽減します。

2026年6月

六月十五日

契約データの可用性の向上

以前は、新しく追加されたサービス契約データの表示に最大24時間かかることがありました。Cisco IQ™では、契約の追加後1時間以内にインベントリが生成されるため、契約の詳細や資産固有の情報にすばやくアクセスして、今後の製品ライフサイクルのマイルストーンに沿って行動することができます。

 注：非常に大規模なデバイスインベントリ（数万台のデバイスにまたがるインベントリなど



)を含むサービス契約では、処理時間がさらに長くなる可能性があります。

六月十二日

レポート

Your Reportsページでは、AIで生成された分析レポートを一元的に保存および管理できます。レポートは、AI Assistant、インラインメッセージ、Cisco IQ全体の完全な分析ビューなど、さまざまなエントリポイントからキャプチャできます。

主な機能は次のとおりです。

- スナップショット管理：レポート履歴を効率的に参照し、スナップショットを切り替えます。
- エクスポートとクリーンアップ：レポートをPDFとしてダウンロードしたり、レポートを個別にまたは一括で削除してライブラリを管理したりできます。
- エラー処理の改善：権限、セッション、またはロードに関する問題について、わかりやすく有益なガイダンスを受け取ることができます。

レポートのカスタマイズ

AI Assistant内のカスタマイズ機能を使用すると、AIで生成された分析レポートをレポートビューから直接、特定のニーズに合わせてカスタマイズできます。次の機能を使用して、レポートのレイアウトとコンテンツを変更できます。

- ウィジェットの並べ替え：チャート、テーブル、インサイトをドラッグアンドドロップして、レポートレイアウトを並べ替えます。
- ウィジェットの削除：最も重要なデータに焦点を当てるために、特定のグラフ、テーブル、またはインサイトを除外します。
- AI支援による編集：自然言語プロンプトを使用して、タイトル、説明、重要な洞察の特定の変更を要求します。
- 推奨されるプロンプト：分類されたAI生成の提案のライブラリを活用して、カスタマイズをガイドします。

2026年4月

資産アプリケーション

Assetsアプリケーションは、シスコの資産に対する包括的な可視性と管理機能を提供し、Cisco IQの基盤として機能し、組織内のすべてのデバイスの一元化されたリストを提供します。複数の情報源から情報を収集することで、デバイスインベントリの唯一の正しい情報源として機能します。

資産の重要度の洞察

Cisco IQが提供するAsset Criticality Insightsを使用すると、Assetsアプリケーションでネットワークデバイスの機能の役割とビジネス上の重要性を予測できます。デバイス構成と有効な機能を分析することで、ネットワークに最も大きな影響を与える資産を特定し、セキュリティの修復、ソフトウェアのアップグレード、サポート終了やサポート終了の計画、契約範囲の決定に関して優先順位を付けることができます。

サービス契約

Service Contractsページでは、サポート契約を一元的に監視できます。主な機能は次のとおりです。

- サービス契約の監視：包括的な契約の概要と詳細データにより、更新計画と契約範囲戦略を合理化します。
- 資産固有の洞察：お客様の資産に直接リンクされた明確で実用的なデータにより、脆弱性を迅速に特定して軽減します。
- AI-Powered Operations: AI Assistantを活用して、リスク管理、ケースサポート、およびリアルタイムのトラブルシューティングを行います

LDOSダッシュボード

サポート終了日(LDOS)ダッシュボードでは、LDOSマイルストーンの一元化されたビューが提供され、ハードウェアまたはソフトウェアがサポート終了に達する前に、資産計画と予算予測を改善できるため、運用リスクを大幅に削減できます。

資産のタギング

Assetsアプリケーションはアセットのタグ付けをサポートしており、カスタムラベルを使用してインベントリの整理、フィルタリング、アクションを柔軟に行うことができます。タグの作成、変更、資産への割り当てを行うことができ、管理者はタグの一元管理を利用できます。タグを個別の資産に割り当てたり、一括で割り当てたり、タグでインベントリをフィルタリングして、目的の資産をすばやく見つけることができます。

評価アプリケーション

評価アプリケーションは、組織の資産を評価してインベントリを可視化し、セキュリティ、安定性、キャパシティ、コンプライアンス、およびエージングに関連するリスクを予防的に調査して軽減し、ネットワークの安全性を維持するためのフレームワークを提供します。

セキュリティ アドバイザリ

評価アプリケーションでは、統合型セキュリティアドバイザリを使用して潜在的な脅威に対抗できます。システムは関連する脆弱性をプロアクティブに検知し、重要な更新を確実に通知し、ネットワークを保護するための措置を迅速に講じることができます。

セキュリティの強化

評価アプリケーションは、Cisco OS強化ガイドに照らして資産を継続的に評価することで、ネットワークインフラストラクチャのセキュリティポスチャをリアルタイムで自動的に可視化します。セキュリティポスチャやリスクの発生に影響を与える可能性がある、インフラストラクチャ全体の設定の変更を検出します。セキュリティ強化の各ルールは、対象となる資産全体で評価され、結果の優先順位は重大度によって決まります。これにより、セキュリティギャップの解消、復力の強化、運用リスクの軽減が可能になります。

コンフィギュレーション

この評価アプリケーションでは、シスコの実績ある専門知識に基づいて、推奨されるベストプラクティスに照らして資産を評価します。アベイラビリティ、セキュリティ、またはパフォーマンスに影響を与える可能性がある、インフラストラクチャ全体の設定の変更を検出します。各ベストプラクティスルールは、対象資産全体にわたって評価され、設定の一貫性、耐障害性の強化、運用リスクの軽減を実現するのに役立つ結果の優先順位が重大度で示されます。

Field Notice

評価アプリケーションは、ハードウェアとソフトウェアのアップデートに関するタイムリーでプロアクティブな通知を提供します。関連するField Noticeを評価ダッシュボード内で直接提示することにより、潜在的な問題が業務に影響を与える前にその問題に対処できます。

サポートアプリケーション

サポートアプリケーションでは、カスタマーサポートケースの統合ビューが提供され、アクセス

権のある未解決のケースと終了したケースの両方が表示されます。

ケースレポート

サポート・リクエストの一元化されたビジュアル・サマリーを提供するインタラクティブなダッシュボードが、「概要」ページのサポート・アプリケーションで利用できます。このダッシュボードを使用すると、リクエストのステータスと重大度を迅速に評価できます。対話型グラフを使用すると、フィルタリングされたサポート案件リストに直接ナビゲーションできるため、関連するサポート案件の検索に要する時間が短縮されます。

ケースリスト

サポート・アプリケーションでは、次のタイプのケース・リスト・ビューを使用できます。

- アカウントケース: 「ケース」ページには、Cisco IQアカウントの契約に関連するすべてのケースが統合されてリスト表示され、1つのインタラクティブなビューから直接、ケースの一般的なアクションやインサイトを確認できます
- Your Cases: Your Casesページには、表示および管理する権限を持つケースの統合リストが表示されます。パーソナライズされたビューが表示され、関連するケースへの集中、一般的なアクションの実行、インサイトの収集が容易になります

両方のリストビューには、セッションとログインにわたって保持される設定可能な列とフィルタが含まれ、一貫したカスタマイズされたエクスペリエンスを提供します。

通信プリファレンス管理

サポート・アプリケーションでは、サポート・リクエストの詳細ビューから通信設定を利用できるため、サポート・エクスペリエンス全体が向上します。連絡方法と連絡日時を設定したり、個々のサポート案件の通知を有効にしたり、サポート案件の通知を受信する電子メールアドレスを指定したりできます。

ケースノート管理

サポート・アプリケーションでは、サポート・リクエストの詳細ビューからケース・ノートを参照できます。ケースの更新に関する総合的な記録がドキュメント化され、1か所で容易に参照できます。お客様またはシスコのエンジニアがケースの更新や決定を送信したかどうかを記録し、連絡し、確認することができます。

ファイルと添付ファイルの管理

サポート・リクエストの詳細ビューからサポート・アプリケーションでケース・ファイルを管理できるため、サポート・ドキュメントをケース内に安全に添付して保持できます。

関連するバグリスト

サポート・リクエストに関連するバグは、サポート・リクエストの詳細ビューからサポート・アプリケーションに表示されます。バグをクリックすると、Cisco.comの[Bug Search Tool](#)で対応するレコードが開き、ケースに関連する既知の製品問題がただちに表示されます。

関連するRMA

サポート・リクエストの詳細ビューからサポート・アプリケーションにアクセスすると、ケースに関連するRMA (返品許可) を利用できます。このRMAにより、ケースに関連する交換活動、出荷ステータス、ロジスティックス活動を一元的に追跡できます。

RMAリスト

サポートアプリケーションでは、次のRMAリストビューを使用できます。

- RMA: RMAのページには、Cisco IQアカウントのケースに関連付けられたすべてのRMAをまとめたリストが表示され、一元化されたリストから直接、すべてのハードウェア交換アクティビティの監視、分析、対応ができます
- RMAs: 「RMAs」ページには、表示と管理に必要な資格を持つRMAの一覧が表示されます。この一覧は、関連するハードウェア交換アクティビティに集中できるようにパーソナライズされた表示になります

AIアシスタント

AI Assistantは、生データを実用的な洞察、推奨事項、ガイド付きアクションに変換することで、Cisco IQの使用率を向上させます。既存のツールと統合して、個々のデータソースを活用し、複数のデータストリームにわたってインテリジェンスを統合して、リアルタイムの提案を行います。

フリーテキスト (対話型AI)

AI AssistantはFree Textをサポートし、Cisco IQ内でAIの対話を実現するための基本的な機能を提供します。Natural Language Processing(NLP)モデルを使用してデータを操作でき、インターフェイスのアクセス性と直感性が向上します。

コンテキストAIアシスタント

コンテキストに応じたAI Assistantにより、動的なコンテキストが保証され、一貫したユーザレベルのコンテキストで、グローバルアプリケーションと個々のアセットをシームレスにサポートします。アセットを簡単に切り替えて、セッションの状態を維持できます。Cisco IQと直接統合されているため、重要な資産データ（テレメトリ、サポート契約、資産のホスト名、資産のIPアドレス、製品IDなど）に瞬時にアクセスできます。

迅速な分類

AI Assistantは、ワークフローを合理化し、必要な支援をすばやく見つけるのに役立つプロンプトをカテゴリ別に並べて提供します。プロンプトは次のカテゴリに分類されます。

- Assets(General):LDOSおよび一般的なインベントリクエリーを含む、資産ライフサイクルに関連するプロンプト
- Troubleshooting：エラーsyslogメッセージまたは設定に関する質問を支援するプロンプト
- ケース：ケースの表示、更新、エスカレーション、終了などのケース管理アクションをサポートするためのプロンプトを表示し、シスコのサポートリソースとの効率的なトラッキングとコミュニケーションを可能にします。
- 資産重要度：ネットワーク内での役割と重要性に基づいて、リスク軽減活動の資産の優先順位付けに関連するプロンプト
- Assessments - Configuration（評価－構成）：構成の評価結果の要約、推奨ベストプラクティスに対する構成の逸脱の特定、および実行可能な推奨事項の生成に関連するプロンプト
- 評価－セキュリティの強化：推奨されるセキュリティベースライン設定の特定、デバイスを強化するためのベストプラクティス、シスコネットワークインフラストラクチャを保護するための手順に関する情報を提供します。
- アセスメント－セキュリティアドバイザリ：推奨されるセキュリティベースライン設定の特定、デバイス強化のベストプラクティス、シスコネットワークインフラストラクチャの保護に関する手順に関する情報を提供します。

 注:Basicレベルのサポートレベルでは、AI AssistantのAssets (General)、Troubleshooting、Cases、およびAssessments - Security Advisories promptライブラリにアクセスできます。

LDOS集約

AI AssistantのAssets promptライブラリには、LDOSに役立つ複数のプロンプトが含まれています。集約と優先順位付けの機能により、ネットワーク資産に関連するリスクを迅速に特定して対処できます。

Fast Trackによる問題解決

AIアシスタントのケースプロンプトライブラリには、サポートケースの表示と追跡を可能にするケースプロンプトが含まれています。これにより、ケースステータスの確認、更新の確認、進行状況の追跡、および次のステップの最新情報の確認によって、問題の管理と迅速な解決が容易になります。

AI Assistantを使用したトラブルシューティング

Cisco IQにはAIを活用したトラブルシューティング機能があり、デバイスの問題を個別に解決できます。この直感的なアシスタントは、シスコ認定のトラブルシューティングツールと包括的で実績のあるナレッジベースを活用します。この機能を使用すると、問題を迅速に解決し、最適なパフォーマンスを維持し、サポートケースを開く必要を減らすことができます。この機能は、次の領域で使用できます。

- サービス プロバイダー
- 企業ネットワーク
- データセンター

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。